

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	健康推進課長 村下 伯	電話番号	0852-22-5248
----------	-------------	------	--------------

事務事業の名称	食育推進基盤整備事業		
目的	(1) 対象	県民	
	(2) 意図	食生活改善（食育）に積極的に取り組む人を増やす	
事業概要	○若い世代が食に関心を持ち実践につながるよう、体験の機会を増やす取組の推進 ○食に関する情報の収集及び発信の強化 ○食育活動を行う団体や栄養士等のネットワークづくり及び食育活動に取り組む人材育成の推進 ○郷土料理・伝承料理の収集と情報提供による食文化の継承 ○健康な食を推進する環境づくり		

2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
1	指標名	食生活改善推進員の年間総活動回数	目標値	86,000.0	86,000.0	86,000.0	86,000.0	回
	式・定義	食生活改善推進員の年間総活動回数	実績値	84,340.0				
			達成率	-	-	-	-	%
2	指標名		目標値					
	式・定義		実績値					
			達成率	-	-	-	-	%

3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費(b) (千円)	7,371	15,804
うち一般財源 (千円)	4,059	7,395

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基いた現状）

- ・若い世代（20,30歳代）の食に関する関心が薄く、朝食欠食や野菜の摂取不足の傾向がある。
- ・食生活改善推進員の人数は減っているが、活動回数は年々増加している。
- ・県内市町村で食育推進計画が策定され、計画に基づき食育の取組が推進されている。
- ・島根県調理師会連合会に、地域で食育を推進する調理師養成研修を委託し、63名が受講した。
- ・しまね食育まつりを開催し、11の関係団体から出展をし、約5,000名の参加があり、食育についてPRできた。
- ・スーパーマーケット協会との連携により、42店舗のスーパーで買い物客に対して食育やうす味レシピなどの情報提供をした。
- ・食育サイトに、県立大学松江キャンパス学生による食レポ記事や地域の郷土料理集などを掲載し、充実した。

6. 成果があったこと（改善されたこと）

- ・県内すべての市町村で食育推進計画が策定され、計画に基づき食育の取組が推進されている。
- ・食生活改善推進員や調理師会での研修などにより、地域で食育活動の推進者が充実してきた。
- ・多くの団体参加のイベントや広報、県ホームページ内の食育サイトの充実、地元スーパーとの連携により、啓発機会が充実した。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

①困っている「状況」

- ・若い世代（20,30歳代）の食に関する関心が薄く、朝食欠食や野菜の摂取不足の傾向が続いている。

②困っている状況が発生している「原因」

- ・食育に関する情報収集や情報発信が弱い。
- ・子ども達や若者は食育に関する体験をする場が少ない。

③原因を解消するための「課題」

- ・若者にとって魅力のある食育の情報発信
- ・食育に携わる人のネットワークづくり

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

- 若者が食育に関心をもってもらえるような食育情報サイト等の充実
- 新聞やテレビ等を活用した食育の啓発
- 食育に関わる庁内各課、関係機関・団体とのさらなる連携強化
- 健康長寿しまね推進協議会とも連携し、若者への情報発信や様々な機会を通じての啓発を推進
- 地域のスーパーと連携し、買い物に併せて食の体験や情報入手ができる「まちの食育ステーション」の充実

・課（室）内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効果的・効果的に行ってください。

・上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価（任意記載）